おとったん、
ありがとありました。

黒木和雄
戦争レクイエム三部作

宮沢りえ　原田芳雄　浅野忠信

父と暮せば

愛する者たちを
一瞬の閃光に奪われ、
生き残った娘。
その恋のときめきから
この世に舞い戻った
おとったん。
これはひたむきな
魂の再生の物語です。

文部科学省選定／厚生労働省社会保障審議会特別推薦／青少年映画審議会推薦
日本PTA全国協議会推薦／日本映画ペンクラブ特別推薦／日本原水爆被害者団体協議会特別推薦
原作：井上ひさし「父と暮せば」（新潮社刊）　監督：黒木和雄　脚本：黒木和雄／池田眞也　撮影監督：鈴木達夫　美術監督：木村威夫　音楽：松村禎三

毎日映画コンクール 監督賞／キネマ旬報 主演女優賞・邦画4位／ブルーリボン賞 主演女優賞／日刊スポーツ映画大賞 監督賞
山路ふみ子映画賞 映画賞・女優賞／日本映画ペンクラブ邦画1位／報知映画賞 助演男優賞／朝日ベストテン映画祭邦画2位
無煙名画大賞／ヨコハマ映画祭 特別賞（黒木和雄）

東京都知事推奨
広島県知事推奨
長崎県教育映画等審議会特別推薦
広島市長推薦
長崎市推薦

日本映画界の巨匠 黒木和雄 戦争レクイエム三部作完結。

人間の尊厳を市井の名もなき父娘に託して、現代日本の代表的作家・井上ひさしが描く傑作戯曲「父と暮せば」（第二回読売演劇大賞「優秀作品賞」受賞）の映画化である。広島の原爆投下から3年、生き残った後ろめたさから幸せになることを拒否し、苦悩の日々を送る主人公・美津江。突如幽霊となって現れた父・竹造に励まされ、悲しみを乗り越え、未来に目を向けるまでの4日間の物語。娘・美津江役には、「たそがれ清兵衛」で数々の映画賞を受賞した宮沢りえ。父・竹造役には「美しい夏キリシマ」・「ニワトリはハダシだ」等の作品に出演する原田芳雄。美津江の恋の相手、木下正役に「座頭市」への出演で独特の演技をみせる浅野忠信。数多くの秀作を生み、そして「TOMORROW／明日」「美しい夏キリシマ」で"庶民の日常と戦争"を痛切に語ってきた黒木和雄監督が、"今"この時代に戦争レクイエム三部作の完結編にヒロシマを選んだ。しかし、原爆のヒロシマの悲劇を描きながらもあたたかい笑いがあり、広島弁の父娘の会話には心が和む。「最悪の状況下でも、人間は常に未来をみている」、原作者・井上ひさしの思いが描かれた感動の映画となった。

父と暮せば

原作：井上ひさし「父と暮せば」（新潮社刊）
監督：黒木和雄　脚本：黒木和雄／池田眞也
撮影監督：鈴木達夫　美術監督：木村威夫
音楽：松村禎三
企画：深田誠剛
製作：石川薫俊／川城和実／張江肇／金澤龍一郎
松本洋一／鈴木ワタル
プロデューサー：河野聡／木谷宗津子／桑島雅麻
大村正一郎／斎藤敏久／大橋孝史
プロダクションマネージャー：上原吾和　録音：久保田幸雄
照明：三上日出志　美術：安宅紀史　編集：奥原好幸
VFXプロデューサー：大屋哲男　衣装デザイン：岩本美莉
ヘアメイク：小堺なな　宮沢りえ・メイク：久遠由紀
記録：内田綾子　助監督：水戸敏博　録音：赤松陽構造
スチール：清崎智宏　宣伝企画プロデューサー：五十嵐辰也
製作：衛星劇場／バンダイビジュアル／日本スカイウェイ
テレビ東京メディアネット／東プロモーション／パル企画
配給：パル企画　http://www.chichitokurasaba.com
（2004／カラー／35mm／99分／ビスタサイズ）

盛夏の広島。昭和20年8月6日午前8時15分。突如頭上に炸裂した一発の閃光が人々の運命を襲った。広島を「ヒロシマ」に変え、父と娘の未来を変えた。人類史上初の原爆が投下されてから3年後の広島。図書館に勤める美津江は、愛する者たちを一瞬の閃光で失い、自分が生き残ったことへの負い目に苦しみながら、息を殺すようにひっそりと暮し[illegible]年が現れた。原爆の資料集めに情熱を注ぐ木下青年に好意を示され、美津江も一目で彼に魅かれていく。「うちはしあわせになってはいけんのじゃ。」自分は人を好きになったりしてはいけない。幸せなど望んでいない…。美津江はそんな自分の恋心を押さえつけ、黙殺しようと必死である。美津江が恋に目覚めたとき、父・竹造の幽霊が現れる。頑なに恋心を否定し、幸せの一歩手前で躊躇する美津江に、父の竹[illegible]、すかし、励まし、ありとあらゆる方法で何とか娘・美津江の心を開かせようとするのだが…。

官公庁DVD定価 ¥80,000［税別］

北辰映像株式会社
〒336-0911 埼玉県さいたま市緑区三室2190-2
TEL 048-810-5277
FAX 048-876-2955